

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	三田社会学会
Publication year	2016
Jtitle	三田社会学 (Mita journal of sociology). No.21 (2016. 7)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-20160702-0156

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

『三田社会学』第21号をお届けいたします。本号には、昨年度大会時のシンポジウムに基づく特集論文7本、投稿論文2本、書評論文9本、書評リプライ3本、大会報告要旨4本が掲載されました。投稿は3本あり、査読・再査読を経て掲載可となった論文は、上記のとおり2本でした。査読をお引き受けいただき、丁寧であり、かつ厳しくもあるアドバイスをおくっていただいた先生方に、この場を借りてあらためて御礼申し上げます。

さて私事ではありますが、編集委員、さらに編集委員長を小生がお引き受けしてから、すでかなりの歳月が経ったように感じます。そろそろ交替の時期では？などと個人的に感じておりますが、ここでは『三田社会学』の編集作業が、編集委員会はもとより、さまざまな方々のご助力により成り立っているという点にふれておきたいと思います。まず「特集」の論文の取りまとめは、昨年度大会のシンポジウムの企画を担当された方に基本的にお願ひしています。編集委員の仕事は主に「論文」に関するもので、投稿論文の査読体制の決定および査読に関する作業全般です。「書評」の対象書の選定は、編集委員会ではなく、幹事会にて、多くの先生方のご意見をもとに行っています。また書評や「大会報告要旨」の原稿の取りまとめ、また、校正プロセスの管理は事務局の担当です。この他にも塾出身のアシスタントの方に、全体の形式上の統一など編集作業をお願いしています。私自身、他の学会誌の編集に携わることもあるのですが、編集の作業を一極に集中させず、以上のような分業体制が自然に出来あがっていることは、(もちろん改善の余地がないわけではないものの)ひとつの財産ではないかと感じております。

なお、今年度も刊行にあたって三田哲学会から助成をいただきました。最後となりましたが記して感謝申し上げます。(編集委員長 澤井敦)

編集委員会

澤井敦(委員長) 菅野博史 熊田俊郎 塩原良和
近森高明(事務局) 烏谷昌幸(事務局)

題字は福沢諭吉による

三田社会学

第21号

発行 2016年7月2日

編集発行：三田社会学会

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学文学部近森研究室内

tchikamori@a5.keio.jp

印刷：梅沢印刷所

250部発行